

令和 3 年 6 月 21 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H01925

研究課題名（和文）稀少特徴と言語地域の音韻類型論：コイサン音韻論の貢献

研究課題名（英文）An areal typological phonology of rara: Khoisan phonology

研究代表者

中川 裕（Nakagawa, Hiroshi）

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：70227750

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 24,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は言語音の多様性を探求する分野「音韻類型論」における未開拓の重要な問題、「言語音の限界線はいかなるものか？」と「その限界線をなす稀少特徴はどのように説明できるか？」に取り組んだ。そのために次の3つの新接近法を導入した：(i)世界中に遍在する「ありふれた音韻特徴」を重視する従来の手法を逆転させて、地理的に偏在する「めずらしい音韻特徴」を重視する点；(ii)極度に複雑な音韻を多用するコイサン諸語の精査によって、言語音の複雑度の限界範囲の解明に挑戦する点；(iii)音素目録に基づく頻度調査に依存しがちだった従来の研究に対し、語彙内における頻度調査を体系的に実施する点である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果の学術的意義は、第一に、音韻類型論における従来の主流的な研究潮流に対し、逆転を志向する接近法（言語音の多様性の内包ではなく外延を重点的に考察することで多様性の本質に迫る手法）を提案した点にある。第2に、この接近法による成果を具体的に提示することに成功した点にある。第3に、従来の音韻類型論が依存しがちだった音素目録ベースの通言語頻度調査方法に対し、本研究は、標本言語の並行語彙データベースを用いて、語彙内頻度の通言語頻度調査を実現した点にある。さらに、これによって最大規模のコイサン平行語彙データベースを構築したことは、アフリカ言語学への大きな貢献でもある。

研究成果の概要（英文）：This project carried out the first large-scale, comprehensive survey of the phonological systems of the Khoisan languages. These languages are well known for their use of large sets of click phonemes, a typologically rare characteristic. They are also unique because the click phonemes carry a high functional load in the respective systems. All these languages have strikingly similar and highly skewed root phonotactics: all native roots follow one of only three templates, whereas the distribution of consonants is extremely skewed across the various slots of these templates. The project has made a contribution to phonological typology in providing empirical support for a range of earlier claims and speculations about these typologically rare systems.

研究分野：言語学

キーワード：音韻類型論 Khoisan Kalahari Basin area Khoe-Kwadi family Tuu family Kx'a family click

1. 研究開始当初の背景

言語音の多様性を捉えようとする類型論的研究は、過去約 35 年間で、広域標本調査アプローチによって格段の進歩をとげた。この接近法は世界の言語を代表する標本言語の横断的比較により音韻体系の普遍的性質について多数の知見をもたらした。

だがそこでは、通言語的に特異な稀少特徴が、目の粗い広域標本のせいで見落とされたり、一般原理の提唱のために考察から意図的に除外されたりしてきた。結局、従来の音韻類型論が解明したのは、世界の言語に広く共有される音韻パタンの傾向(多様性の内包)に限られ、言語音の限界縁(多様性の外延)がいかなるものかという重要課題は探求されてこなかった。言語音の多様性でなく共通性ばかりに目を奪われるというのが、これまでの音韻類型論の主流であった。

2. 研究の目的

上記の背景を踏まえて、本研究は次の二つの問題の解答を探ることを目指す。

第1は「言語音の多様性の外延はいかなるものか？」である。この実証的問題に答えるためには、通言語的に特異な音韻現象、つまり特定の言語(群)に偏って分布する稀少音韻特徴を、綿密に観察・分析せねばならない。

第2は「外延をなす稀少特徴はどのように説明できるか？」である。この理論的問題に挑むためには、稀少特徴とその他の特徴との共時的な有機的関係を解明する必要がある。同時に、当該特徴が系統内部や地域内部にどう分布し多様性を示すかを調査し、そこから、稀少特徴の歴史的变化や伝播を解読しなければならない。それらによって、当該の稀少特徴を構造的に成立させ維持する仕組みや、特定の言語(群)・地域に偏在する歴史的要因を解く手がかりが得られるからである。

本研究は、世界で最も複雑な音類を多用するコイサン諸語を精査することによって、従来の音韻類型論が十分に取扱うことのできなかつた、上記の実証的問題と理論的問題の解決に挑むことを目的とする。

3. 研究の方法

本研究は、国内外のコイサン言語学者との共同研究により、調査可能なコイサン諸語の大きな部分を占める 15 言語を標本として厳選した。そして、プロジェクトで設計したコイサン音韻論調査票を用いて、それぞれの言語の専門家が、担当する言語の音素体系記述集と基礎語彙リストを作成し、これらを統合してオンラインで共同作業ができるコイサン音素目録データベースとコイサン平行語彙データベースを構築した。

音素目録作成には汎コイサン分節音チャートとその潜在的弁別素性を用いた。語彙データベースは各言語について同規模で均質な平行的語彙資料を構築するため、現行プロジェクトの試行錯誤から設計した共通 829 語彙項目を用いた。(Nakagawa et al. 2019, Witzlack-Makarevich & Nakagawa 2019 参照。)

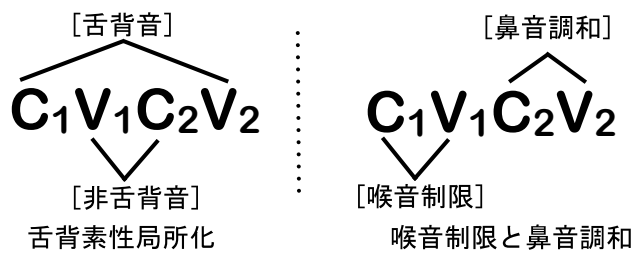
目録データベースと語彙データベースに基づいて、音素・素性・音素配列パターンなどの音韻単位の頻度の分布を精査し、稀少特徴の実相の重要な部門を解明した。さらに、稀少特徴の系統内・地域内変異を探り、コイサン特有の音変化「脱クリック化」の精査から、稀少音韻特徴(言語音の外延)とありふれた特徴(言語音の内包)との歴史的関係も探求した。そして、以上の調査結果を総合して、稀少音韻特徴の説明原理について考察した。

4. 研究成果

本研究は、コイサン 15 標本言語について、音素目録データと音韻情報を組み入れた平行語彙リストの集成に成功した。これら 2 種類のデータベースを用いた音韻単位の頻度調査によって新たな音韻類型論的事実と一般化がもたらされ、その成果は順調に刊行されている(e.g. Nakagawa et al. 2019, Witzlack-Makarevich & Nakagawa 2019, Güldemann & Nakagawa 2018)。

コイサン 3 語族の重要な稀少音韻特徴は、(i)音素目録と(ii)音素配列に認められる(Witzlack-Makarevich & Nakagawa 2019)。(i)の特徴はクリックを多数含む子音音素目録の巨大さにある。例えば、本研究プロジェクトの標本では、最大目録は西コン語の 165 子音(クリック子音が 111)で、平均音素数で見ても、コイサン平均が 86(クリック 52)であった。これは、世界平均の 22 子音に比べ、破格に多い。この巨大な子音目録の背後には、そこに関与する豊富な弁別素性の奇異な組合せという特色がある。

(ii)の音素配列論的な特徴は、語根の内部における、音素および弁別素性の分布の甚だしい歪みである。コイサン語根は、そのほとんどが CVCV, CVV, CVN の3つのテンプレートのいずれかに該当する。この3つのうち、最も基本的と見なすことのできるのは、CVCVである。下の2図



は(ii)の要点を語根の基本型 CVCV で模式的に示している。左図のように、舌背素性は、語根の両端 C1...V2 には現れるが、中央の V1C2 には現れない。舌背閉鎖が関与するクリック子音は C1 にのみ現れる。V1 は舌背素性で対立せず([+high, ±low, ±back] は非弁別的)、円唇性と喉音性(咽頭化・喉頭化)だけで対立する。

また、右図のように、語根前半 C1V1 だけに喉音制限が、語根後半 C2V2 だけに鼻音調和が現れる。この極端な素性の“棲み分け”はコイサン以外には観察されていない。

本研究プロジェクトは、コイサン音素目録データベースとコイサン語彙データベースを用いて、以上に述べた(i)と(ii)のコイサン特有の希少特徴の実態を精密に実証することに成功した(また、CVCVが「基本型」であるという見解にも根拠を与えた)。

さらに、本研究の第2の目的である希少特徴の説明についても成果が出始めた。コイサン希少特徴の本質は、上に述べた、語根のテンプレートにおける素性の数と種類の歪んだ分布に認められる。本研究では、この問題について、その説明の鍵になる舌背素性隣接回避の仮説を提案した(Güldemann & Nakagawa 2018)。そして、この仮説が標本言語を通して強く支持されることが分かった。

言語音の多様性の理解に貢献する実証的・記述的な本研究の成果は、プロジェクトの過程で検証を積み重ねて拡大改訂を続けてきた汎コイサン子音チャートと汎コイサン母音チャート、またそれらを構成する潜在的弁別素性セットに反映している。そこには、言語音の多様性の限界縁の理解するための新しい知見が豊富に含まれている。両チャートは Witzlack-Makarevich & Nakagawa 2019 で公表したが、その後、母音チャートにはさらに改訂が加わった。現在、チャート最終版を含む成果の刊行を準備中である。

この研究プロジェクトの過程で、音素目録と語彙に加えてテキストを用いた頻度調査の重要性をあらためて認識し、小規模テキスト資料による音素頻度の予備調査を行なった。しかしながら、データ規模が不十分なため意味のある類型論的一般化はできなかった。そこで、小規模データを多数の標本言語から集めるのではなく、大規模データを一部の標本言語から収集してコーパスを構築するアプローチを研究組織で検討した。その結果、各語族から数言語を標本として厳選し、十分な規模のテキスト・コーパスを構築するのが現実的かつ効果的だと結論した。この判断に基づき、本プロジェクトは、データベースを音素目録・語彙・テキストの3種類に拡大する新構想「言語音の多様性の外延の理解拡大：3基軸データによるカラハリ言語帯の音韻類型論」を最終年度前年度申請として応募して採択された。

<引用文献>

- ① Nakagawa, Hiroshi, Tom Güldemann, Florian Lionnet, and Alena Witzlack-Makarevich (2019) Khoisan phonological typology database and the relative frequencies of consonants in the Khoisan languages, 13th Conference of the Association for Linguistic Typology, University of Pavia, Italy, September, 2019.
- ② Witzlack-Makarevich, Alena and Hiroshi Nakagawa (2019) Linguistic Features and Typologies in Languages Commonly Referred to as 'Khoisan'. E. Wolff (ed.) *The Cambridge Handbook of African Linguistics*, 382-416.
- ③ Güldemann, Tom and Hiroshi Nakagawa (2018) Anthony Traill and the holistic approach to Kalahari Basin sound design, *Africana Linguistica*, 24: 45-73.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計86件（うち査読付論文 77件 / うち国際共著 34件 / うちオープンアクセス 12件）

1. 著者名 Guedemann, Tom	4. 巻 -
2. 論文標題 Changing profile when encroaching on forager territory: toward the history of the Khoe-Kwadi family in southern Africa	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Guedemann, Tom, Patrick McConvell and Richard A. Rhodes (eds.), The languages of hunter-gatherers	6. 最初と最後の頁 114-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781139026208.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Guedemann, Tom and Harald Hammarstroem	4. 巻 -
2. 論文標題 Geographical axis effects in large-scale linguistic distributions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Crevels, Mily and Pieter Muysken (eds.), Language dispersal, diversification and contact	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Guedemann, Tom, Patrick McConvell and Richard Rhodes	4. 巻 -
2. 論文標題 Hunter-gatherer anthropology and language	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Guedemann, Tom, Patrick McConvell and Richard A. Rhodes (eds.), The languages of hunter-gatherers	6. 最初と最後の頁 3-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781139026208.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Guedemann, Tom, Patrick McConvell and Richard Rhodes	4. 巻 -
2. 論文標題 Appendix: a preliminary worldwide survey of forager languages	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Guedemann, Tom, Patrick McConvell and Richard A. Rhodes (eds.), The languages of hunter-gatherers	6. 最初と最後の頁 670-699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781139026208.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Gueldemann, Tom	4. 巻 23(1)
2. 論文標題 What is syntactic about reported speech/discourse? Comment on Spronck, Stef and Tatiana Nikitina, "Reported speech forms a dedicated syntactic domain: typological arguments and observations"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Linguistic Typology	6. 最初と最後の頁 177-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/lingty-2019-0007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom	4. 巻 -
2. 論文標題 The linguistics of Holocene High Africa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sahle, Yonatan, Hugo Reyes-Centeno and Christian Bentz (eds.), Modern human origins and dispersal. Words, Bones, Genes, Tools: DFG Center for Advanced Studies Series 2	6. 最初と最後の頁 285-313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom and Ines Fiedler	4. 巻 -
2. 論文標題 Niger-Congo "noun classes" conflate gender with deriflection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Di Garbo, Francesca, Bruno Olsson and Bernhard Waelchli (eds.), Grammatical gender and linguistic complexity, volume 1: general issues and specific studies	6. 最初と最後の頁 95-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.3462762	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom and Tjerk Hagemeyer	4. 巻 -
2. 論文標題 The history of sentence negation in the Gulf of Guinea creoles	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hagemeyer, Tjerk, Chiara Truppi, Fernanda Pratas, Hugo C. Cardoso and Ne(')lia Alexandre (eds.), Lives in contact: a tribute to nine fellow creolinguists	6. 最初と最後の頁 55-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Guedemann, Tom, Lee J. Pratchett and Alena Witzlack-Makarevich	4. 巻 154
2. 論文標題 From pragmatics to sentence type: non-topical S/A arguments and clause-second particles in the Kalahari Basin	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gengo Kenkyu (Journal of the Linguistic Society of Japan)	6. 最初と最後の頁 53-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11435/gengo.154.0_53	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rolle, Nicholas, Florian Lionnet and Matthew Faytak	4. 巻 24(1)
2. 論文標題 Areal patterns in the vowel systems of the Macro-Sudan Belt	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Linguistic Typology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/lingty-2019-0028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Lionnet, Florian	4. 巻 -
2. 論文標題 The colon as a separate prosodic category: tonal evidence from Paici(^) (Oceanic, New Caledonia)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the 36th West Coast Conference on Formal Linguistics	6. 最初と最後の頁 250-259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hyman, Larry M., Nicholas Baier, Emily Clem, Peter Jenks, Florian Lionnet, John Merrill, Nicholas Rolle, and Hannah Sande	4. 巻 -
2. 論文標題 Niger-Congo linguistic features and typology	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Wolff, Ekkehard (ed.), The Cambridge Handbook of African Linguistics	6. 最初と最後の頁 191-245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781108283991.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Revisiting tense and aspect in the Khoe language family	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bayer, Klaus, Gertrud Boden, Bernhard Koehler and Ulrike Zoch (eds.), Linguistics across Africa: Festschrift fuer Rainer Vossen	6. 最初と最後の頁 99-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Transitivity in Ts'ixa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Anyanwu, Rose-Juliet (ed.), Transitivity in African languages (Frankfurter Afrikanistische Blätter)	6. 最初と最後の頁 55-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria, Sonja Bosch and Inge Kosch	4. 巻 -
2. 論文標題 African Linguistics in So-Called Lusophone and Hispanophone Africa and in Southern Africa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Wolff, Ekkehard (ed.), The Cambridge Handbook of African Linguistics	6. 最初と最後の頁 98-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781108283991.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 African Linguistics in Official Portuguese- and Spanish-Speaking Africa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Wolff, Ekkehard (ed.), A History of African Linguistics	6. 最初と最後の頁 189-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781108283977.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria	4. 巻 40(2)
2. 論文標題 Kuvale: A Bantu language of southwestern Angola	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of African Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 235-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/jall-2019-0010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mohr, Susanne, Anne-Maria Fehn, Alex de Voogt	4. 巻 40(1)
2. 論文標題 Hunting for signs: Exploring unspoken networks within the Kalahari Basin	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of African Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 115-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/jall-2019-0005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Anderson, Cormac, Tiago Tresoldi, Thiago Chacon, Anne-Maria Fehn, Mary Walworth, Robert Forkel, Johann-Mattis List	4. 巻 4(1)
2. 論文標題 A cross-linguistic database of phonetic transcription systems	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Yearbook of the Poznan Linguistic Meeting	6. 最初と最後の頁 21-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2478/yplm-2018-0002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Anne-Maria Fehn	4. 巻 169(1)
2. 論文標題 Phonological and Lexical Variation in the Khwe Dialect Cluster	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Zeitschrift der Deutschen Morgenlaendischen Gesellschaft	6. 最初と最後の頁 9-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.13173/zeitdeutmorggese.169.1.0009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pratchett, Lee J.	4. 巻 1
2. 論文標題 Language contact and change eastern Botswana: insights from the pronominal system of an undocumented Kalahari Khoe variety (Khoe)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Language in Africa	6. 最初と最後の頁 34-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.37892/2686-8946-2020-1-1-34-64	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom, Lee J. Pratchett and Alena Witzlack-Makarevich	4. 巻 154
2. 論文標題 From pragmatics to sentence type: non-topical S/A arguments and clause-second particles in the Kalahari Basin	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gengo Kenkyu (Journal of the Linguistic Society of Japan)	6. 最初と最後の頁 54-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11435/gengo.154.0_5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakagawa, Hiroshi	4. 巻 98
2. 論文標題 Linguistic and music ethnography of Kalahari Khoe	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Area and Culture Studies	6. 最初と最後の頁 191-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/93959	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Witzlack-Makarevich, Alena, and Nakagawa Hiroshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Linguistic Features and Typologies in Languages Commonly Referred to as 'Khoisan'	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 H. Ekkehard Wolff (ed.) The Cambridge Handbook of African Linguistics	6. 最初と最後の頁 382-416
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781108283991.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Vladimir Bajic, Chiara Barbieri, Alexander Huebner, Tom Gueldemann, Christfried Naumann, Linda Gerlach, Falko Berthold, Hiroshi Nakagawa, Sununguko W. Mpoloka, Lutz Roewer, Josephine Purps, Mark Stoneking and Brigitte Pakendorf	4. 巻 167
2. 論文標題 Genetic structure and sex-biased gene flow in the history of southern African populations	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 American Journal of Physical Anthropology	6. 最初と最後の頁 656-671
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajpa.23694	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tom Gueldemann, and Hiroshi Nakagawa	4. 巻 24
2. 論文標題 Anthony Traill and the holistic approach to Kalahari Basin sound design	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Africana Linguistica	6. 最初と最後の頁 45-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2143/AL.24.0.3285491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 田中二郎	4. 巻 12
2. 論文標題 多文化共生時代の可能性と未来	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 共生社会システム研究	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 9
2. 論文標題 障がい者が描くこと・生きることー自閉症をもつ「ゆっくん」の絵画表現	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 N: ナラティブとケア	6. 最初と最後の頁 74-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 99
2. 論文標題 On the G!ui Experiences of 'Being Hunted': Analysis of oral discourses on the man-killing by lions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 65-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009120	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 24
2. 論文標題 境界を歩く犬たち 人類学と文学のあいだ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学会ニュースレター	6. 最初と最後の頁 8-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原和孝	4. 巻 10
2. 論文標題 南部アフリカ狩猟採集民グイ・ブッシュマンにおける 病 と 治療	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 N: ナラティブとケア	6. 最初と最後の頁 55-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuyoshi Sugawara	4. 巻 -
2. 論文標題 The Situationality of Animal Borders: From phenomenology to natural history of evolution	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Thiemo Breyer and Thomas Widlok (eds.), The Situationality of Human-Animal Relations: Perspectives from Anthropology and Philosophy	6. 最初と最後の頁 29-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14361/9783839441077-003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大野仁美	4. 巻 16
2. 論文標題 グイ語の語順とWh疑問文	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 言語と文明	6. 最初と最後の頁 97-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田明, 片桐恭弘, 片岡邦好	4. 巻 21
2. 論文標題 20周年記念パネル・ディスカッション「相互行為エンジン仮説」の妥当性と未来: 多分野からの検証と提言	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会言語科学	6. 最初と最後の頁 407-420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Seifart, Frank, Jan Strunk, Swintha Danielsen, Iren Hartmann, Brigitte Pakendorf, Soren Wichmann, Alena Witzlack-Makarevich, Nivja H. de Jong & Balthasar Bickel	4. 巻 115
2. 論文標題 Nouns slow down speech across structurally and culturally diverse languages	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences May 2018, 201800708	6. 最初と最後の頁 5720-5725
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1800708115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Florian Lionnet	4. 巻 54
2. 論文標題 Phonological teamwork in Kalahari Basin languages	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Africana Linguistica	6. 最初と最後の頁 75-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2143/AL.24.0.3285492	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pascal Boyeldieu, Raimund Kastenholz, Ulrich Kleinewillinghoefer, and Florian Lionnet	4. 巻 34
2. 論文標題 The Bua Group languages (Chad, Adamawa 13): A comparative perspective	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Current Approaches to Adamawa and Gur Languages, (Raija Kramer and Roland Kiessling, eds.)	6. 最初と最後の頁 53-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Lionnet, Florian and Larry M. Hyman	4. 巻 11
2. 論文標題 Current Issues in African Phonology	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Tom Guedemann (ed.), The Languages and Linguistics of Africa	6. 最初と最後の頁 602-708
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Lee J. Pratchett	4. 巻 14
2. 論文標題 Voicing on the fringe: towards an analysis of 'quirky' phonology in Ju and beyond	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Africana Linguistica	6. 最初と最後の頁 99-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gerlach, Linda	4. 巻 24
2. 論文標題 Palatalization in =/ ' Amkoe	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Africana Linguistica	6. 最初と最後の頁 31-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2143/AL.24.0.3285490	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐野洋	4. 巻 -
2. 論文標題 モノの見方の二重性と言語表現	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japio YEAR BOOK	6. 最初と最後の頁 314-322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria	4. 巻 24
2. 論文標題 New data on northeastern Kalahari Khoe phoneme inventories - a comparative survey	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 In: Gueldemann, Tom & Hiroshi Nakagawa (eds.), <i>Africana Linguistica</i>	6. 最初と最後の頁 5-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fehn Anne-Maria, Phiri Admire	4. 巻 48
2. 論文標題 Nominal marking in Northern Tshwa (Kalahari Khoe)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Stellenbosch Papers in Linguistics	6. 最初と最後の頁 105-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5774/48-0-284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gueldemann, Tom and Hiroshi Nakagawa (eds.)	4. 巻 24
2. 論文標題 Kalahari Basin sound structure - in memory of Anthony T. Traill (1939-2007)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 <i>Africana Linguistica</i>	6. 最初と最後の頁 5-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Gueldemann, Tom	4. 巻 -
2. 論文標題 The linguistics of Holocene High Africa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 In Bentz, Christian, Hugo Reyes-Centeno and Yonatan Sahle (eds.), Modern human origins and dispersal	6. 最初と最後の頁 285-313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom	4. 巻 -
2. 論文標題 The state of documentation of Kalahari Basin languages	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 In McDonnell, Bradley, Andrea L. Berez-Kroeker and Gary Holton (eds.), Language Documentation & Conservation Special Publication 15	6. 最初と最後の頁 210-223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom	4. 巻 -
2. 論文標題 Language contact and areal linguistics in Africa: introduction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 In Gueldemann, Tom (ed.), The languages and linguistics of Africa. The World of Linguistics 11	6. 最初と最後の頁 445-446
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom	4. 巻 -
2. 論文標題 Historical linguistics and genealogical language classification in Africa	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 In Gueldemann, Tom (ed.), The languages and linguistics of Africa. The World of Linguistics 11	6. 最初と最後の頁 58-444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom	4. 巻 -
2. 論文標題 Did Proto-Tuu have a paradigm of cardinal numerals?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 In Beyer, Klaus, Gertrud Boden, Bernhard Koehler and Ulrike Zoch (eds.), 40 Jahre Afrikanistik: Festschrift fuer Rainer Vossen	6. 最初と最後の頁 119-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gueldemann, Tom	4. 巻 -
2. 論文標題 Areal linguistics beyond contact, and linguistic areas of Afrabia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 In Gueldemann, Tom (ed.), The languages and linguistics of Africa. The World of Linguistics 11	6. 最初と最後の頁 448-545
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morelli, G. A., Quinn, N., Chaudhary, N., Vicedo, M., Rosabal-Coto, M., Keller, H., Murray, M., Gottlieb, A., Scheidecker, G., & Takada, A.	4. 巻 49
2. 論文標題 Ethical Challenges of Parenting Interventions in Low- to Middle-income Countries	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cross-Cultural Psychology	6. 最初と最後の頁 5-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0022022117746241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takada, Akira	4. 巻 -
2. 論文標題 Environmentally coupled gestures among the Central Kalahari San	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 D. Favareau (Ed.), Co-operative Engagements in Intertwined Semiosis: Essays in Honour of Charles Goodwin	6. 最初と最後の頁 397-408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Click replacement and loss in Ju	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sands, Bonny (ed.), Handbook of Clicks	6. 最初と最後の頁 336-355
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Click loss in Khoe-Kwadi	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sands, Bonny (ed.), Handbook of Clicks	6. 最初と最後の頁 291-335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川 裕	4. 巻 20
2. 論文標題 世界の色彩語の類型と進化：“ブッシュマン”の言語の調査がもたらす新知見	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 総合文化研究	6. 最初と最後の頁 88-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa, Hirosi	4. 巻 -
2. 論文標題 Haba lexical tonology	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Anne-Maria Fehn(ed.), Khoisan Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 108-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lee, H., Nand, K., Shimizu, Y., Takada, A., Kodama, M., & Masuda, T.	4. 巻 5
2. 論文標題 Culture and emotion perception: Comparing Canadian and Japanese children's and parents' context sensitivity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Culture and Brain	6. 最初と最後の頁 91-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40167-017-0052-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Rosabal-Coto, M., Quinn, N., Keller, H., Vicedo, M., Chaudhary, N., Gottlieb, A., Scheidecker, Murray, M., Takada, A., & G., Morelli, G. A.	4. 巻 -
2. 論文標題 Real-world applications of attachment theory	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 H. Keller and K. A. Bard (Eds.), The cultural nature of attachment: Contextualizing relationships and development	6. 最初と最後の頁 335-354
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Morelli, G. A., Chaudhary, N., Gottlieb, A., Keller, H., Murray, M., Quinn, N., Rosabal-Coto, M., Scheidecker, G., Takada, A., & Vicedo, M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Taking culture seriously: A pluralistic approach to attachment	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 H. Keller and K. A. Bard (Eds.), The cultural nature of attachment: Contextualizing relationships and development	6. 最初と最後の頁 139-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 南西アフリカ (ナミビア) 北中部のサンの定住化・キリスト教化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 池谷和信 (編), 狩猟採集民からみた地球環境史: 自然・隣人・文明との共生	6. 最初と最後の頁 203-216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田 明	4. 巻 -
2. 論文標題 再演される出産：ボツワナにおける再定住政策と異常出産の治療儀礼	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 松岡悦子(編), 子どもを産む・家族をつくる人類学：オルタナティブへの誘い	6. 最初と最後の頁 185-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大野 仁美	4. 巻 18
2. 論文標題 オバサンの子どものものに自分のキョウダイ? グイ語の親族名称体系	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 フィールドプラス	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Guedemann, Tom and Anne-Maria Fehn	4. 巻 -
2. 論文標題 The Kalahari Basin area as a "Sprachbund" before the Bantu expansion	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hickey, Raymond (ed.), The Cambridge handbook of areal linguistics	6. 最初と最後の頁 500-526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fehn Anne-Maria, Phiri Admire	4. 巻 48
2. 論文標題 Nominal marking in Northern Tshwa (Kalahari Khoe)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Stellenbosch Papers in Linguistics	6. 最初と最後の頁 105-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5774/48-0-284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fehn, Anne-Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 Marking direct objects in Ts'ixa (Kalahari Khoe)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Anne-Maria Fehn (ed.), Khoisan Languages and Linguistics. Proceedings of the 4th International Symposium, Riezlern 2011	6. 最初と最後の頁 121-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tom Gueldemann, Fehn, Anne-Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 The Kalahari Basin area as a 'Sprachbund' before the Bantu expansion - an update	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hickey, Raymond (ed.), The Cambridge Handbook of Areal Linguistics	6. 最初と最後の頁 500-526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Heine, Bernd, Fehn, Anne-Maria	4. 巻 -
2. 論文標題 An areal view of Africa	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hickey, Raymond (ed.), The Cambridge Handbook of Areal Linguistics	6. 最初と最後の頁 424-445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa, Hiroshi	4. 巻 52
2. 論文標題 The aspect system in G ui: with special reference to postural features	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 African Study Monograph, supplementary issue	6. 最初と最後の頁 119-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/207691	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa, Hiroshi	4. 巻 0
2. 論文標題 Khoisan phonotactics: a case study from G!ui	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Lone Tree, Scholarship in the Service of the Koon: Essays in memory of Anthony Traill, Eds. Rainer Vossen & Wilfrid Haacke	6. 最初と最後の頁 301-310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計70件 (うち招待講演 17件 / うち国際学会 36件)

1. 発表者名 Gerlach, Linda and Christfried Naumann
2. 発表標題 Phonetic Features of Linguistic Areality in Southern Africa
3. 学会等名 the African Colloquium "Seminarangehoerige stellen Projekte vor" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rolle, Nicholas and Florian Lionnet
2. 発表標題 Phantom structure: a representational account of floating tone association
3. 学会等名 7th Annual Meeting on Phonology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Lionnet, Florian
2. 発表標題 Tone and prosodic structure in Paici(^) (New Caledonia) / Tons et structure prosodique en paici(^) (Nouvelle-Cale(')donie)
3. 学会等名 11th Conference on Oceanic Linguistics (COOL 11) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakagawa, Hiroshi, Tom Gueldemann, Florian Lionnet, and Alena Witzlack-Makarevich
2. 発表標題 Khoisan phonological typology database and the relative frequency of consonants in the Khoisan languages
3. 学会等名 13th Conference of the Association for Linguistic Typology (ALT 2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Pratchett, Lee J.
2. 発表標題 Respect knows no boundaries: The diffusion of politeness strategies across the Kalahari Basin
3. 学会等名 12th International Conference on (Im)politeness (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Witzlack-Makarevich, Alena and Hiroshi Nakagawa
2. 発表標題 Khoisan Phonological Typology database and the relative frequency of consonants in the Khoisan languages
3. 学会等名 Department seminar of the Department of Linguistics, Hebrew University of Jerusalem (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakagawa, Hiroshi
2. 発表標題 History of tonal interaction across paradigms: new findings from Khoisan tonology,
3. 学会等名 24th International Conference on Historical Linguistics (ICHL24) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川裕
2. 発表標題 カラハリ狩猟採集民の言語におけるユニークな音象徴
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川裕、アレナ・ウィツラック=マカレヴィチ、木村公彦
2. 発表標題 言語音の限界縁：カラハリ言語帯音韻類型論
3. 学会等名 日本アフリカ学会第57回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 カラハリ狩猟採集民の言語における飲食動詞の類型論的特徴
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 声調交替のパラディグマティックな説明：グイ語における2つの畳語パラダイムの相互作用音韻史
3. 学会等名 日本言語学会第156回大
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 くちあたりの音象徴の言語相対性と普遍性：コイサン事例研究
3. 学会等名 『外国語と日本語との対照言語学的研究』第25 回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakagawa, Hirosi
2. 発表標題 Click acquisition in G ui
3. 学会等名 The 9th World Congress of African Linguistics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菅原和孝
2. 発表標題 動物と感応する身体 - 南部アフリカ狩猟採集民グイの場合
3. 学会等名 第50回中四国人類学談話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ONO, Hitomi
2. 発表標題 Is ki a focus marker in G ui?
3. 学会等名 Seminar, Department of African Language and Literature, University of Botswana.
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ONO, Hitomi
2. 発表標題 Focus marking and identification in G ui
3. 学会等名 The 9th World Congress of African Linguistics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大野仁美
2. 発表標題 カラハリ・コエ語派における姿勢動詞の文法化
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A. & Sugiyama, Y
2. 発表標題 Re-establishing a good life: Abnormal delivery, rehabilitation treatments, and funerals among the G ui and G ana of Botswana
3. 学会等名 Department of Social Anthropology
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takada, A
2. 発表標題 Discussant of Session 3: Conviviality & African Potentials
3. 学会等名 3rd Kyoto Symposium: African Potentials 2019: International Symposium on African Potentials and the Future of Humanity (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Takada, A
2 . 発表標題 Folk knowledge and wayfinding practices among the San of the Central Kalahari
3 . 学会等名 Contribution of Area Studies to Global Challenges in Africa
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takada, A
2 . 発表標題 Crying, caregiving and embodied organization of emotion socialization: A tribute to the lifework of M. H. Goodwin
3 . 学会等名 the 117th Annual meeting of American Anthropological Association (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takada, A
2 . 発表標題 Environmental perception and wayfinding practices among the San of the Central Kalahari
3 . 学会等名 UCL Anthropology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Takada, A
2 . 発表標題 Play-to-work transition among the !Xun of north-central Namibia
3 . 学会等名 the 12th Conference on Hunting and Gathering Societies (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A. & Xiaojie Tian
2. 発表標題 Reconsidering play-to-work transition in (post-)hunter-gatherer communities
3. 学会等名 the 12th Conference on Hunting and Gathering Societies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A
2. 発表標題 Features of the participation framework in play and work activities among the !Xun of north-central Namibia
3. 学会等名 the 12th Conference on Hunting and Gathering Societies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takada, A. & Masaki Shimada
2. 発表標題 Movies from the field: Play-to-work transitions in (post-)hunter-gatherer communities
3. 学会等名 the 12th Conference on Hunting and Gathering Societies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sylvanus Job
2. 発表標題 A basic introduction into Khoekhoegowab: Part 1: Phonetics and Phonology
3. 学会等名 “Ethnographie und Sprache am Beispiel Khoisan”, a Blockseminar led by Prof. Dr. Thomas Widlok, Crash Course, Institute of African and Egyptian studies, University of Cologne, Germany (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sylvanus Job
2. 発表標題 Gender and Number Resolution in Khoekhoegowab Conjunctive Noun-phrases
3. 学会等名 The 9th World Congress of African Linguistics in Rabat, Morocco (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tom Geldemann and Lee J. Pratchett
2. 発表標題 ReKOMmenting on =/Kx'au 'ae
3. 学会等名 Information structure in spoken language Corpora 3 (ISSLaC3): Discourse and information structure, University of Muenster (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Lee J. Pratchett
2. 発表標題 An areal and typological appraisal of gender in Ju
3. 学会等名 Project workshop: Gender across Niger-Congo, Humboldt University of Berlin (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Lee J. Pratchett
2. 発表標題 Towards a reclassification of Kalahari Khoe: evidence from Tcua pronominal system
3. 学会等名 (Guest lecture), University of Botswana (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Lee J. Pratchett
2 . 発表標題 Towards a reclassification of Kalahari Khoe: evidence from Tcua pronominal system
3 . 学会等名 3rd meeting of the Khoisan Phonological Typology project, Mohammed V University, Morocco
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Lee J. Pratchett
2 . 発表標題 Language diversity in eastern Botswana: a documentation of Tshwa
3 . 学会等名 The 20th International Congress of Linguists, University of Cape Town (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Lee J. Pratchett
2 . 発表標題 Person, gender, number marking in Tshwa
3 . 学会等名 23rd Afrikanistentag, University of Hamburg (招待講演)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Lee J. Pratchett
2 . 発表標題 A new appraisal of dialect diversity in Tshwa (Kalahari-Khoe)
3 . 学会等名 Afrikalinguistisches Kolloquium, Humboldt University of Berlin
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Florian Lionnet
2. 発表標題 Subfeatural representations: encoding coarticulatory strength
3. 学会等名 "Inside the segment" workshop, 93rd Annual Meeting of the Linguistic Society of America (LSA 2019), New York (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Florian Lionnet
2. 発表標題 Modality in North-Central !Xuun
3. 学会等名 20th International Congress of Linguists, Cape Town , South Africa (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Florian Lionnet
2. 発表標題 The colon as a separate prosodic category: Tonal evidence from Paici (Oceanic, New Caledonia)
3. 学会等名 36th West Coast Conference on Formal Linguistics (WCCFL 36), UCLA (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Florian Lionnet
2. 発表標題 The gender system of Laal (isolate) in typological and areal perspective
3. 学会等名 "Gender across Niger-Congo" Workshop, Humboldt University, Berlin (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐野洋、石田智裕
2. 発表標題 時間経過認識の二重性と文法
3. 学会等名 思考と言語研究会研究技法(6頁)、電子情報通信学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐野洋
2. 発表標題 時間は流れない,モノが動きを創る
3. 学会等名 企画講演セッション「言語による発想の相違とギャップ克服への道」、2018年電子情報通信学会総合大会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐野洋
2. 発表標題 モノの見方と時間の解釈(動きの表現)
3. 学会等名 思考と言語研究会技術報告、6頁、電子情報通信学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐野洋
2. 発表標題 モノの捉え方と動きの表現
3. 学会等名 思考と言語研究会技術報告、6頁、電子情報通信学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐野洋
2. 発表標題 ライティング分科会報告
3. 学会等名 第10回産業日本語研究会・シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 クリック子音体系の言語獲得：グイ語事例研究
3. 学会等名 日本言語学会第154回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 コイサン諸語における器質性構音障害の症例：軽度舌小帯短縮症のグイ語話者によるクリック子音音素の発音
3. 学会等名 日本言語学会第155回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 コイサン3語族を横断する音韻特徴：遺伝子的距離との関係
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakagawa, Hiroshi
2. 発表標題 G ui basic color terms
3. 学会等名 The 6th International Symposium of Khoisan Linguistics (Riezlern 6) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川 裕
2. 発表標題 世界色彩俯瞰プロジェクトとカラハリ狩猟採集民の基礎色彩語
3. 学会等名 高知大学人文社会科学部人文社会科学科国際社会コース研究プロジェクト(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 養育者 - 子ども間相互行為研究への人類学的アプローチ：ナミビア北中部のクン・サンにおける睡眠，授乳，ジムナスティックの分析から
3. 学会等名 子どものこころの分子統御機構研究センター平成29年度連続セミナー第4回(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 育ての自然誌：ナミビア北中部のクン・サン(ブッシュマン)の事例から
3. 学会等名 同生命地域研究賞第11回ミニフォーラム(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田 明
2. 発表標題 子育ての自然誌：ナミビア北中部のクンにおける養育者 - 子ども間相互行為の事例から
3. 学会等名 第106回日本小児科学会山形地方会 特別講演（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, Akira
2. 発表標題 Language Socialization among the San: Reconsidering Infant Directed Speech
3. 学会等名 Language Socialisation in trilingual communities in Africa and beyond: Brainstorming Workshop（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大野 仁美
2. 発表標題 焦点マーカーと焦点関連構文：グイ語の場合
3. 学会等名 日本言語学会第155回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ono, Hitomi
2. 発表標題 Focus marking and focus constructions in G ui
3. 学会等名 6th International symposium of Khoisan Languages and Linguistics（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Lee Pratchett
2. 発表標題 A new appraisal of dialect diversity in Tshwa
3. 学会等名 the AfrikalinguistischesKolloquium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Lee Pratchett
2. 発表標題 Language contact and language change in the Kalahari: evidence from a study of nominal gender in Ju (Kx'a)
3. 学会等名 SprachwissenschaftlichesKolloquium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Lee Pratchett
2. 発表標題 A documentation of San varieties in the Western Sandveld: a documentation of “Tshwa”
3. 学会等名 Riezlern6 (6th International symposium for Khoisan languages and linguistics) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Lee Pratchett
2. 発表標題 Topic in Southeastern Ju varieties
3. 学会等名 Riezlern6 (6th International symposium for Khoisan languages and linguistics) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川裕
2. 発表標題 コイサン音韻類型論：初期報告
3. 学会等名 日本言語学会第153回大会、日本言語学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中川裕
2. 発表標題 コイサン3語族を横断する音韻特徴：遺伝子的距離との関係
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川裕
2. 発表標題 クリック子音体系の言語獲得：グイ語事例研究
3. 学会等名 日本言語学会第154回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakagawa, Hiroshi
2. 発表標題 G ui basic color terms
3. 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Job, Sylvanus
2 . 発表標題 The khoekhoegowab gender system revisited
3 . 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Naumann, Christfried
2 . 発表標題 Acoustic features for the distinction of plain stops in West !Xoon
3 . 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Ono, Hitomi
2 . 発表標題 Focus marking and focus constructions in G ui
3 . 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Pratchett, Lee J.
2 . 発表標題 Topic in Southeastern Ju varieties
3 . 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Pratchett, Lee J.
2. 発表標題 Documentation of the San varieties of the Western Sandveld Region, Botswana: a fresh-out-of-the-field report
3. 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, Akira
2. 発表標題 Participation in rhythm: !Xun socialization through singing and dancing activities
3. 学会等名 Seminaire special du CLLE-LTC (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takada, Akira
2. 発表標題 Reconsidering regional structural comparison
3. 学会等名 International Symposium of Khoisan Linguistics: Riezlern 6 (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 Geldemann, Tom, Patrick McConvell and Richard A. Rhodes (eds.)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 742
3. 書名 The languages of hunter-gatherers	

1. 著者名 Gueidemann, Tom (ed.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Berlin: Mouton de Gruyter	5. 総ページ数 800
3. 書名 The languages and linguistics of Africa. The World of Linguistics 11	

1. 著者名 Nakagawa, Hiroshi and Andy Chebanne (eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Ruediger Koeppel Verlag	5. 総ページ数 318
3. 書名 [Anthony Traill 's posthumous manuscript] A Trilingual !Xoo Dictionary: !Xoo-English-Setswana.	

1. 著者名 高田明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 248
3. 書名 相互行為の人類学: 「心」と「文化」が会う場所	

1. 著者名 Anne-Maria Fehn (ed.)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Ruediger Koeppel	5. 総ページ数 287
3. 書名 Khoisan Languages and Linguistics. Proceedings of the 4th International Symposium, Riezlern 2011	

1. 著者名 Anthony Traill (Andy Chebanne, Hiroshi Nakagawa eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Ruediger Koeppel	5. 総ページ数 313
3. 書名 A Trilingual !Xoon Dictionary	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐野 洋 (Sano Hiroshi) (30282776)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授 (12603)	
研究分担者	望月 源 (Mochizuki Hajime) (70313707)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授 (12603)	
研究分担者	高田 明 (Takada Akira) (70378826)	京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授 (14301)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	フェーン アンネ・マリア (Fehn Anne-Maria)		
研究協力者	ゲアラッハ リンダ (Gerlach Linda)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	グルデマン トム (Guedemann Tom)		
研究協力者	ジョブ シルヴァヌス (Job Sylvanus)		
研究協力者	リオネ フロリアン (Lionnet Florian)		
研究協力者	ナウマン クリストフリート (Naumann Christfried)		
研究協力者	大野 仁美 (Ono Hitomi)		
研究協力者	プラチェット リー (Pratchett Lee)		
研究協力者	ウィツラック・マカレヴィチ アレナ (Witzlack-Makarevich Alena)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会 The 5th Meeting of KBA Phonological Typology Project	開催年 2019年～2019年
--	--------------------

国際研究集会 The 4th Meeting of KBA Phonological Typology Project	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 The Third Meeting of KBA Phonological Typology Project	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 The Second Meeting of the Khoisan Phonological Typology Project	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 The First Meeting of the Khoisan Phonological Typology Project	開催年 2016年～2016年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------